

子育て、子どもの安全に全力で

公明党 川原 議員

議員 ①三鷹市は、子育て支援策を全国に先駆けて実行している。平成15年7月の「次世代育成支援対策推進法」成立を受け、今後どう対策を進める考えか②子ども1人を出産するまでに必要な費用は約50万円にもなる。③国民健康保険の出産育児一時金を退院前に渡せないか④受領委任状の実施拡大にも努めよ⑤児童虐待の相談が急

増している。関係機関が一体となって問題に取り組むことが重要だ④核家族化の時代にあつて「すくすくひろば」の役割は大きい。市

一般質問



昨年12月8日から開始された市職員による「安全安心パトロール」

市民の健康施策を充実せよ

公明党 永原 議員

議員 ①わが国は世界一の長寿国となった。戦争など困難を生き抜いてきた女性が多い。この地球から「戦争」の文字を完全に消したいと強く祈る。そこで困難を乗り越えてきた高齢者のケアについて問う。②社会福祉協議会の事業で「ほのぼのネット」という、三鷹市全域に組織が整備された活動がある。これは、近所同士の助け合い・支え合いによるネットワークの構築が期待できる。この有意義な事業をさらに啓発すべきだ③台東区で「高齢者地域見守りネットワーク」が始まった。地域ボランティアなどの関係協力機関が安否確認し、高齢者宅の異変を見つけた場合、最寄りの在宅介護支援センターへ連絡する制度である。本制度を三鷹でも導入できないか④今年度から乳がん検診でマンモグラフィーとエコーによる検査法が導入された。定員以上の応募があり、受診できない人もいたと聞く。希望者全員が受診できるよう事業を拡充せよ⑤かねてから、基本健

康診査などの受診が、隣接する近隣自治体でも可能となるよう提案してきた。進ちよく状況を聞く。市長 ①の周知徹底を図つていきたい②市では都市住民の意識が強いと感じている。高齢者の声を聞きながら、適正な支え合いの形を検討していく③医師会と協議し、

商店街活性化に新たな取組みを

政新クラブ 白鳥 議員

議員 地域の商店街は、大型店の進出などにより危機的な状況にある。しかし、支援策に決めた手がない状況だ。高齢社会である今日、生活に必要な生鮮食品等を購入できるような地域商店街を残すべきである。①具休策の検討には、商店街の実態把握が必要だ。②小売商店の実態数の推移を示すの商店街の理由は、売上げの減少や後継者問題等と聞くが、市や三鷹商工会は実情を把握しているか②JR亀有駅近くにある東和銀座商店

会は、株式会社アモール東和を設立した。空き店舗を活用した鮮魚店の経営や、学校給食部門への進出など大きな成果をあげ、商店街活性化に成功している。活動内容も地域に根ざしており、NPO的な側面を持つている。このように、商店街は地域の資源であり、様々な業種とノウハウがある。市は、これまでの補助金による支援のみではなく、様々な要素を活用するべきだ。③商店会とパートナーシップ協定を結び、新たな施策の展

開は検討できないか④早稲田の商店会などの成功例を参考に、多様な手法を検討すべきだ。市長 ①の国の調査では平成3年で1千300店、14年では1千500店と減少している②商工会が事情を把握している。市も実態調査を検討したい③の参考にすべき点は取り入れたい。個別の要望等も聞き、意欲ある商店街を支援したい。生活環境部長 ②の今後の課題として検討していきたい。③その他の質問 学校農園の活用

障害者(児)の歯科診療の充実を

公明党 緒方 議員

議員 障害者(児)への歯科診療は、通常の方法と必然的に違つて、市に現状を伺う②歯周病疾患は、生活習慣病の一つである。③継続的な在宅訪問や診療など、一貫した支援体制が必要だ④予防の観点から、基本健康診査の対象年齢を30歳に引き下げよ⑤土・日・祝日の拡充実施等も必要だが、適切な治療や医師と歯科医師の連携を

科医師会の連携が大切だ。①障害者(児)に対する歯科診療等については、市に現状を伺う②歯周病疾患は、生活習慣病の一つである。③継続的な在宅訪問や診療など、一貫した支援体制が必要だ④予防の観点から、基本健康診査の対象年齢を30歳に引き下げよ⑤土・日・祝日の拡充実施等も必要だが、適切な治療や医師と歯科医師の連携を

地区公会堂に床暖房を

日本共産党 栗原 議員

議員 地区公会堂は、市内の各地域で年間を通じて、地域住民の社会活動に有効に活用されている。秋から冬にかけて寒さが厳しくなるこの時期、地区公会堂を使つていて痛切に感じていることは、足元から来る、これようのない寒さである。暖房をつけ、室温は高いのに寒くてじつとしてられない。靴下を2枚はいたり、タイツをはいたりしているが、我慢できない。こんな声が利用者から寄せられている。問題は、暖房設備が有効に機能していないことにある。より快適で有効な施設に向けた改善が求められている。①市民の健康にも配慮し、社会参加活動を応援することは、行政の大切な仕事である。利用者からは床暖房の導入を望む声が多い。利用者数の多い公会堂から順次導入を検討すべきではないか②実際に空調を改善するときは、利用者ともよく話し合い、どのような方法がとれるのかを検討してほしい。所見を伺う。

市長 ①建設から相当の年数が経過している施設も多く、老朽化しており、空調設備の改修を順次進めている。今後も市民が快適に利用できる施設となるよう、維持管理に十分配慮していきたい。生活環境部長 ②財政上の問題

平和教育に積極的な取組みを

日本共産党 森 議員

議員 先日、'04年版の平和カレンダーの応募作品である「平和の絵」展を見た。平和を願う子どもたちの気持ちが作品にあらわれており、あらためて世界平和と日本の役割を認識した。①市の平和カレンダー事業は、平和教育に大変有効だ。多くの市民に作品を見てもらい、平和を願う心を育てるべきである。他の公共施設での展示など工夫できないか②戦争の「語りべ」が減つてきている。戦争を風化させないためにも、平和資料

室の設置を検討すべきだ③調布飛行場周辺にある機体壕(えんたいこう)について、④戦跡として保存に努めよ⑤市内案内マップにも掲載すべきだ⑥今回のイラク戦争と世界平和について、所見を伺う⑦11月、国民保護法案の要旨が発表された。問題は有事の際、都道府県知事に土地家屋の使用等に強制措置を認め、命令に従わなければならない等には罰則規定がある点だ。戦争推進体制の進展ではないかと危くをする。所見を示せ。

市長 ③の東京都に要請している④検討したい⑤悲しい事態である。イラクの復興は、国連を中心に解決を図るべきと考えている⑥有事に対応した法整備は必要である。問題点があれば基礎的自治体としては正を求めていきたい。企画部長 ①検討したい②新たな設置は難しい状況である。③その他の質問 交通安全協会員の被服・図書購入

国と都に適切な財政運営を求めよ

日本共産党 大城 議員

議員 ①国で「三位一体」改革の審議が始まった。税源移譲が課題だ。対応を聞く②障害者の支援費

制度で、国からの補助金に財源不足が見込まれる。③市でも約1千900万円不足する。対応を示せ④サ・ビス提供に不足はないか⑤地方にある国の障害者施設で、入所者数縮減の動きがある。対応を聞く⑥都動向につき、⑦第二次財政再建推進プランで、施策見直し等により1千200億円が削減される。私立保育園への補助金縮減は断じて認められない。所見を示せ⑧保健所統廃合は、難病の人にとり死活問題だ。対応を示せ⑨都は市に対して、定期予防接種補助事業等、28項目に及ぶ施策廃止や補助率見直しを提案している。市民への影響は計り知れない。⑦対応を聞く⑧その他の質問 市民サービスの改善について

防犯ブザー 全小・中学生に配布せよ

政新クラブ 伊藤 議員

議員 10月24日夜、三鷹駅前で強盗殺人事件が発生した。比較的治安のよいまちと思つていた私にとつて、衝撃的な事件であった。隣の調布市でも、10月末に登下校の女子中学生が男に腕をつかまれるなど、相次いで事件が起きている。安全安心のまちづくり、特に子どもの安全確保は、緊急かつ重大な課題である。また、事件になつてからでは遅い問題であり、一刻も早く行動を起こすことが大切だ。警察を初めとする関係

機関や地域住民との連携を強化し、重点的な取組みを望みたい。①杉並区は11月、区内の幼稚園・保育園の年長児から中学3年までの子ども全員に、防犯ブザーの貸与を決めた。すでに実施している自治体もある。三鷹市も、市立小・中学校の小児童・生徒に対し、防犯ブザーの普及に取り組みべきだ。所見を伺う②子ども避難所については、設置箇所を増やすとともに、子どもや家庭への周知を徹底することが必要である。現在

の設置数と今後について示せ。市長 ①教育委員会と慎重に検討を進めている。質問を受け、この件については積極的に検討すべきであると考えを進めた。子どもを守る取組みは、いろいろな角度から行うことが重要であり、今後具体的に歩を進めていきたい。教育長 ②2千700力以上あるが、さらに拡充に努めたい。③その他の質問 子どもの体力づくりと部活動の充実/市民駅伝/道路、歩道上の緑化のあり方



多摩地域における保健医療体制のあり方が問われている
……三鷹武蔵野保健所